

学生の就職活動と 県内企業の採用活動のギャップ調査報告書

大学・地域共創プラットフォーム香川
就職・産業振興部会

大学・地域共創プラットフォーム香川

学生の就職活動と県内企業の採用活動のギャップ調査概要(背景・目的)

【背景】

香川県では、高校生の大学進学時に約83%が県外大学等に進学し、また、県内大学等の学生の県内就職率は、R6.3卒で46%となっており、若者の県内定着に構造的な課題が生じている。

また、令和元年に公表された香川経済同友会調査では、県内企業の69%が人材不足の状況にあることが明らかになり、県内企業のあらゆる分野において人手不足が深刻化していることから、県内企業の人手不足の緩和につながる取組みが求められている。

【目的】

大学・地域共創プラットフォーム香川では、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着に向けた各種取組みを推進しているところである。

本調査では、学生の就職活動に関するアンケート調査や県内企業の採用活動に関するアンケート調査を実施し、両者の間のギャップを分析することにより、県内企業の新規学卒者の効果的な採用等につながる取組みを提案する。

学生の就職活動と県内企業の採用活動のギャップ調査概要(まとめ)

①県内の中学生・高校生や大学生低学年の学生などに対し、県内企業の魅力等を発信し、就職活動開始前から県内企業の魅力を認知してもらう取組みが求められる。

(比較分析①就職活動及び採用活動の開始時期(P6)参照)

→大学・地域共創プラットフォーム香川としては、県内企業の魅力発信を後押しする取組みを実施

→県内企業としては、1day仕事体験やオープンカンパニーの実施や中学校・高校・大学が行うキャリア教育への参画をしていくことが重要

②学生が求める勤務条件(給与・福利厚生制度など)を認識することが求められる。

(比較分析②「学生が就職先決定時に重視したこと」と「企業が採用活動でPRすること」(P8)参照)

→大学・地域共創プラットフォーム香川としては、学生と県内企業の「人材定着」に関する課題解決型授業を実施し、県内企業が学生が求めていることについて知ることができる機会を創出

→県内企業としては、給与体系や福利厚生制度の充実を図ることが必要

その他

○県外大学学生(香川県出身)の86.1%が香川県内での就職を検討していることから、県外の学生に向けた県内企業の魅力発信等を行う機会の創出を検討する。

(補足資料⑤(P15)参照)

○学生の県内就職を促進するためには、シビックプライドの醸成が重要。

(補足資料⑥(P16)参照)

○企業が新規学卒者以外の人材(中途採用・外国人材等)の活用についても、検討する。

比較分析概要

▶学生の就職活動に関するアンケート調査と県内企業の採用活動に関するアンケート調査を比較した結果、主に以下の3項目に関して、学生と企業のギャップが見られた。この3項目に関して、更なる分析を行うとともに、学生・企業に対するインタビュー調査を実施した。

①「学生の就職活動開始時期」と「企業の採用活動開始時期」

②「学生の就職先を決定した際に、重視したこと」と「企業の採用活動におけるPRポイント」

③「学生の就職活動における情報収集手段」と「企業の採用活動における情報発信手段」

【学生の就職活動に関するアンケート調査】

- ・実施時期:令和5年1月～2月
 - ・調査対象:令和5年3月卒業予定で、就職活動を行った学生470名
 - ・調査方法:香川県電子申請・届出システムによるWebアンケート調査
- ※アンケート概要については、補足資料③～⑦(P13～17)参照

【学生インタビュー調査①】

- ・実施時期:令和5年5月～8月
 - ・調査対象:令和5年度に大学等を卒業予定の学生及び社会人17名
 - ・調査方法:グループインタビュー
- ※インタビュー概要については、補足資料⑧(P18)参照

【学生インタビュー調査②】

- ・実施時期:令和7年1月
 - ・調査対象:県内大学生3名
 - ・調査方法:産学官メンバーを交えたグループインタビュー
- ※インタビュー概要については、補足資料⑧(P18)参照

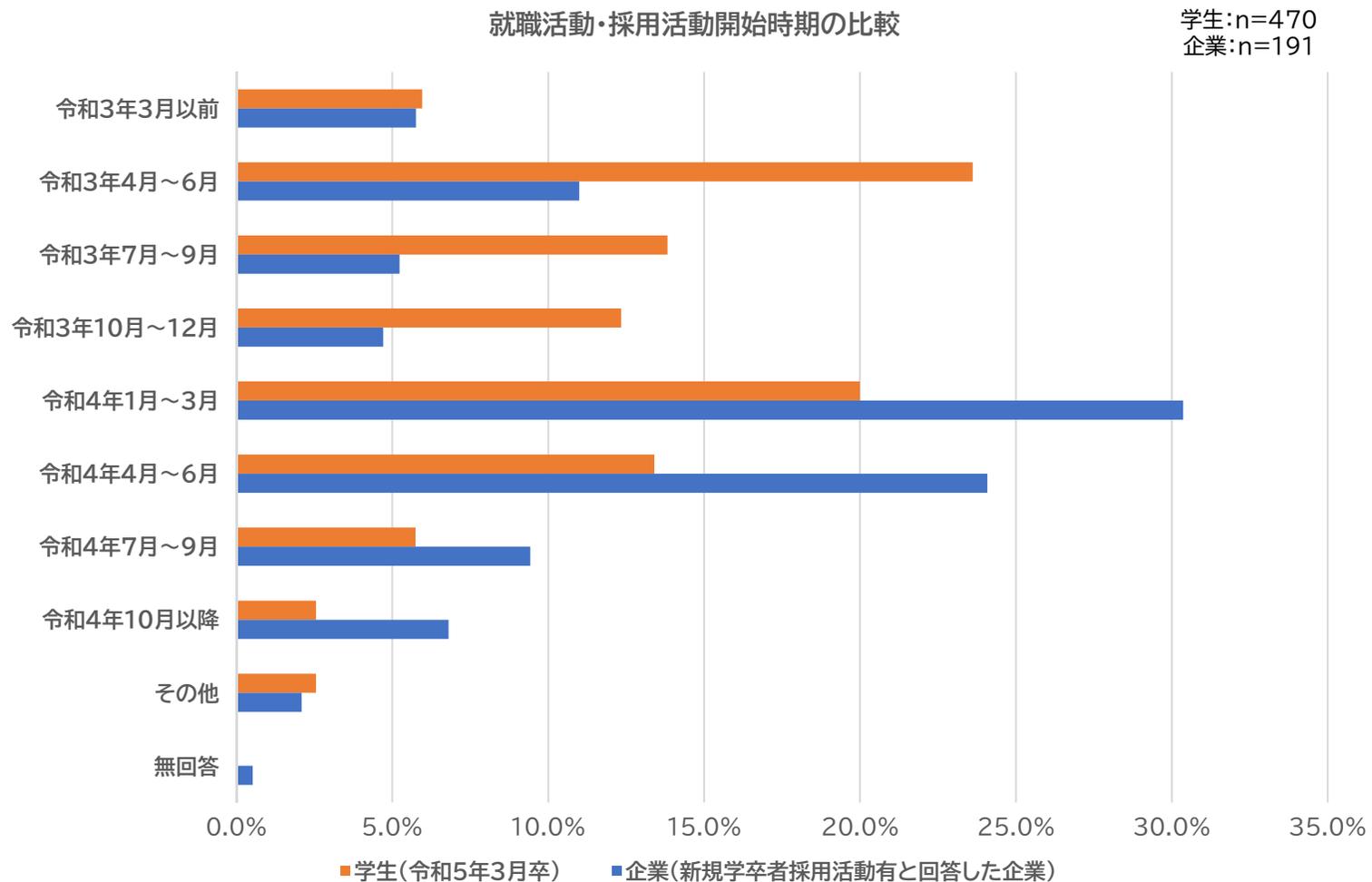
【県内企業の採用活動に関するアンケート調査】

- ・実施時期:令和6年1月～2月
 - ・調査対象:従業員数30人以上の、県内に本社を置く企業1000社
(回答数348社)
 - ・郵送によるアンケート調査(株式会社帝国データバンクに調査委託)
- ※アンケート概要については、補足資料⑨,⑩(P19,20)参照

【県内企業インタビュー調査】

- ・実施時期:令和7年1月
 - ・調査対象:県内企業4社
 - ・調査方法:県内企業経営者・採用担当者へのインタビュー
- ※インタビュー概要については、補足資料⑪(P21)参照

比較分析①就職活動及び採用活動の開始時期



比較分析①就職活動及び採用活動の開始時期

▶アンケート比較結果及びインタビュー結果

- ・学生の採用活動開始時期と比べ、企業の採用活動開始時期が遅い。
- ・学生インタビュー調査では、大学2年生の2月から就職活動を開始した学生がいた。
- ・県内企業インタビュー調査においては、C社では、選考に進む学生の約7割が同社が実施する「1day仕事体験」の参加者であった。また、B社では、中学校の職場体験に参加した中学生が同社の選考に参加した事例があった。

▶分析・具体的な対策(案)

- ・就職活動開始時期は、学生により様々であり、どのタイミングで採用活動を開始すべきかについて、それぞれの企業が採用したいと考える学生像を分析する必要がある。(補足資料⑦(P17))
- ・就職活動開始前から県内企業等の魅力に触れることが、将来的な県内企業就職に繋がることがあることから、中学生・高校生・大学生低学年といった、就職活動開始前のタイミングでの県内企業の魅力発信が求められる。

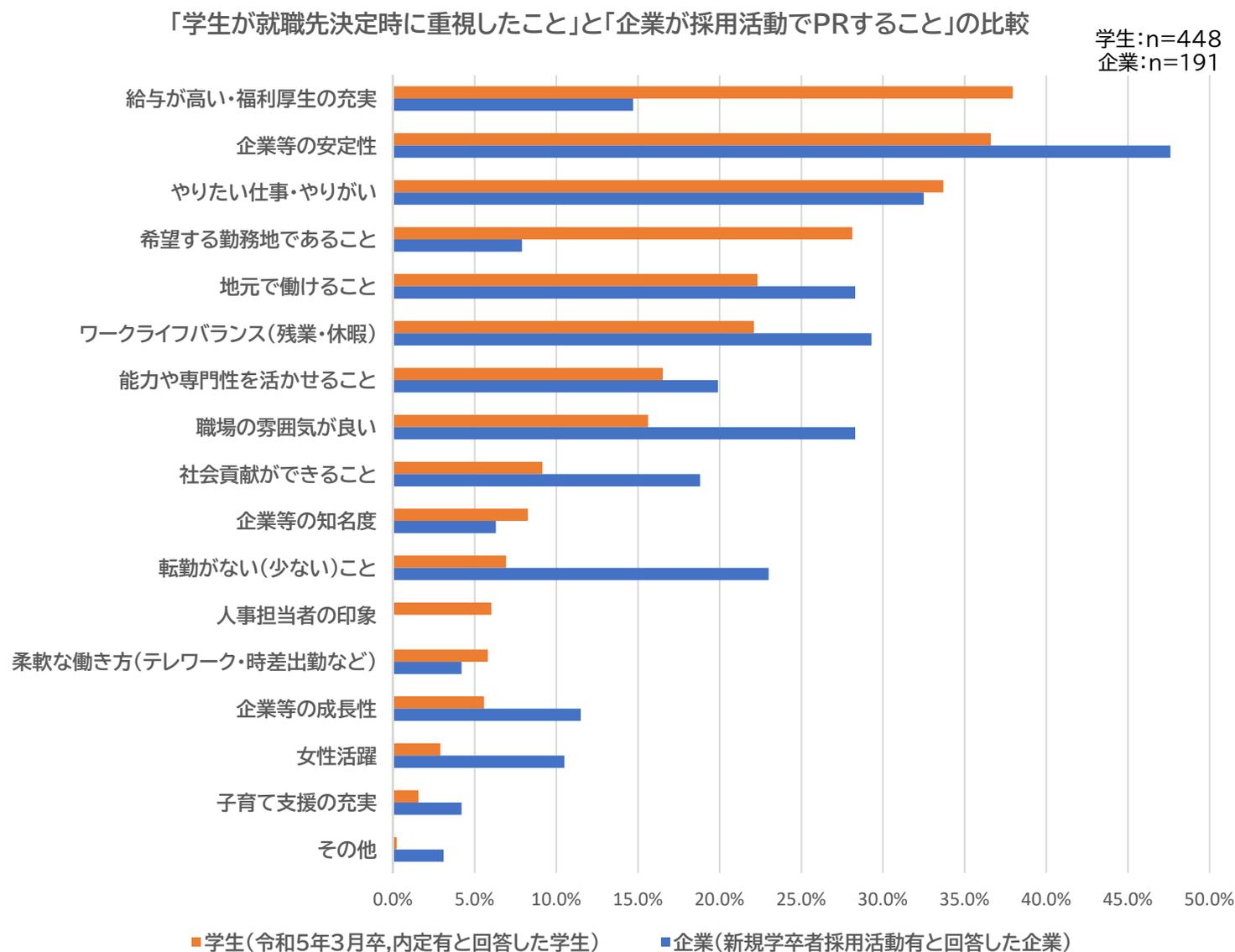
(大学・地域共創プラットフォーム香川)

- ・大学生低学年等を対象とするオンライン県内企業説明会の開催、県内企業の製造現場を高校生・大学生が実際に見学するツアーの開催、高校の文化祭・大学祭における県内企業のブース出展など、中学生・高校生・大学生低学年など、学生の就職活動開始前から県内企業の魅力発信する取組みを推進する。
- ・就職産業振興部会に参画する産学官の関係機関が連携しながら、アンケート等の結果を踏まえた取組みの検討を行う。

(県内企業)

- ・1dayお仕事体験やオープンカンパニーといった方法により、学生に対する早期の魅力発信等が有効である。また、中学校や高校、大学等で実施するキャリア教育には積極的に参画していくことが、長期的には後々の採用につながっていく可能性がある。

比較分析②「学生が就職先決定時に重視したこと」と「企業が採用活動でPRすること」



比較分析②「学生が就職先決定時に重視したこと」と「企業が採用活動でPRすること」

▶アンケート比較結果及びインタビュー結果

- ・学生が一番重視しているのは、「給与・福利厚生」であるが、県内企業はその点をPRできていないというギャップが認められた。(補足資料⑭(P24)参照)
- ・県内企業インタビュー調査において、A社は、給与の高さをPRすることは難しく、「企業の安定性」・「やりたい仕事・仕事のやりがい」・「ワークライフバランス」・「転勤がないこと」をPRしているとのことであった。
- ・学生インタビュー調査では、初任給について、最低ラインは20万円であるとの声があり、福利厚生については、家賃補助や自分自身の将来的なスキルアップにつながる研修制度があるのかというところを重視している。
- ・「企業の安定性」、「やりたい仕事ができること・やりがい」については、学生と企業の双方が重視していることが分かる。学生・県内企業インタビュー調査において、学生は企業規模や業種(準公共サービス)を企業の安定性と捉えており、企業は黒字経営であることを企業の安定性としているという相違が見られた。また、「やりたい仕事ができること・やりがい」については、学生からはインターンシップなどを通してやりたい仕事を探しているが、県内企業ではインターンシップを実施している企業が少なく、その機会がなかったとの意見があり、企業から学生に対して「やりたい仕事ができること・やりがい」を十分伝えられていない可能性がある。

▶分析・具体的な対策(案)

- ・学生が県内企業に求める条件と企業が学生に対してPRしている条件にギャップが見られたため、両者の間にあるギャップを埋めるための取組みが求められる。

(大学・地域共創プラットフォーム香川)

- ・「学生と県内企業による、『人材定着』に関する課題解決型授業」を新たに実施する。これにより、学生が県内企業に対してどのようなことを求めているのかということを知る機会を創出し、若者にとって魅力ある職場づくりを支援する。
- ・就職・産業振興部会に参画する産学官の関係機関が連携しながら、アンケート等の結果を踏まえた取組みの検討を行う。

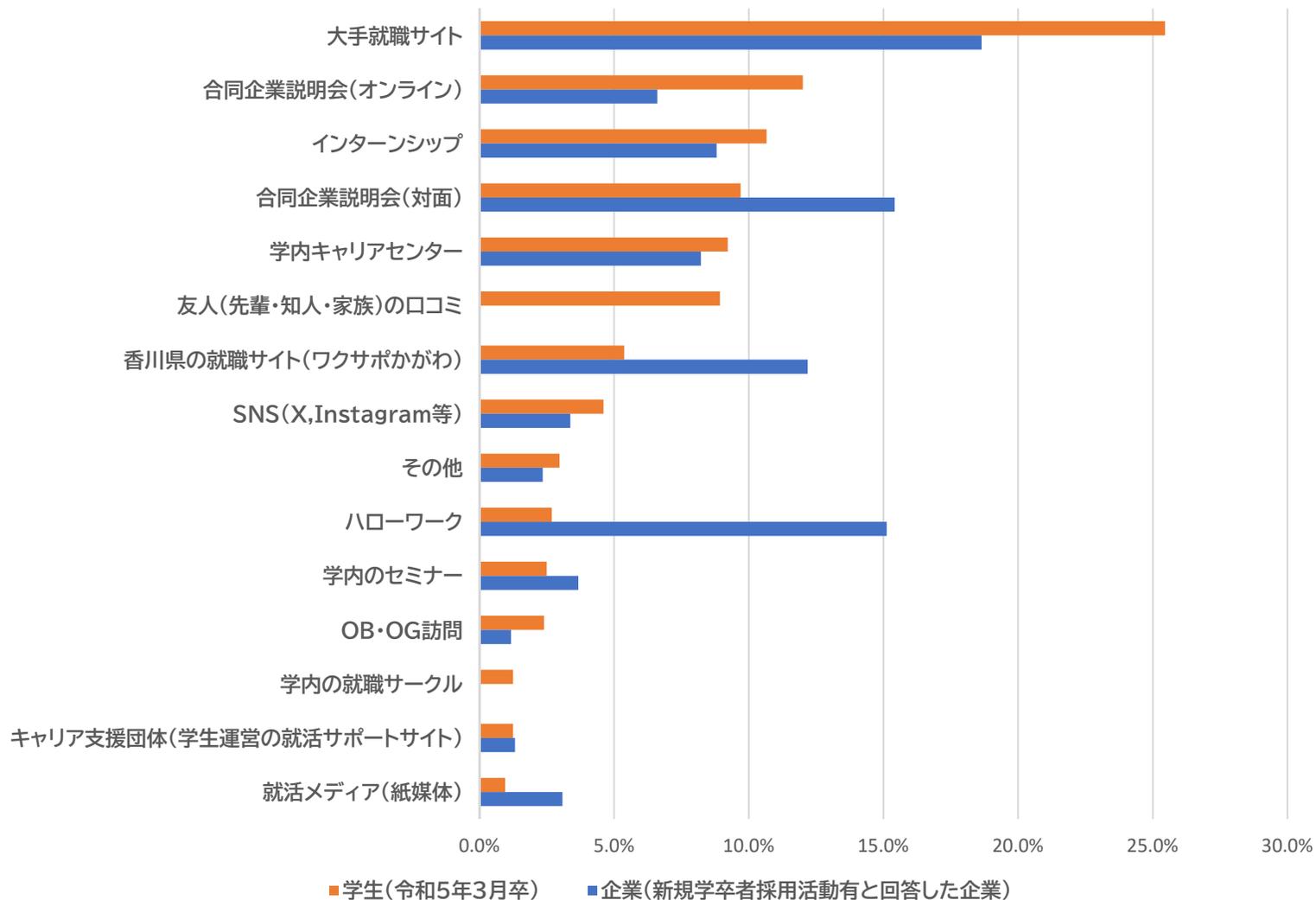
(県内企業)

- ・給与制度や福利厚生制度の充実を図る必要がある。
- ・インターンシップや1dayお仕事体験など、学生が実際に仕事を体験し、社員の働き方や仕事のやりがいを知ることができる機会を提供する。

比較分析③「学生の就職活動における情報収集手段」と「企業の採用活動における情報発信手段」

学生の情報収集手段と企業の情報発信手段の比較

学生:n=470
企業:n=191



比較分析③「学生の就職活動における情報収集手段」と「企業の採用活動における情報発信手段」

▶アンケート比較結果及びインタビュー結果

- ・企業は「ハローワーク」や「ワクサポかがわ」を活用しているのに対し、学生の利用が少ないことが分かった。
(補足資料⑮(P25)参照)
- ・学生インタビュー調査では、大手就職サイトを利用した際、県内中小企業情報が表示されているかもしれないが、知名度の高い企業に目が行きがちであるとの意見があった。また、県内企業では、多くの企業がインターンシップを実施していないため、就職活動において県内企業が対象となりにくいとの意見もあった。
- ・県内企業におけるインターンシップの実施企業数は新規学卒者の採用を行っている企業191社のうち、92社(約48%)であった。インターンシップ実施企業の新卒充足率は約80%であるのに対し、未実施の企業は97社であり、その充足率は約56%と開きがあることも分かった。(補足資料⑬(P23)参照)

▶分析・具体的な対策(案)

- ・大手就職サイト等で埋没してしまいがちな県内中小企業の魅力を学生に伝えるための取組みが求められる。

(大学・地域共創プラットフォーム香川)

- ・大学生低学年等を対象とするオンライン県内企業説明会の開催、県内企業の製造現場を高校生・大学生が実際に見学するツアーの開催、高校の文化祭・大学祭における県内企業のブース出展など、県内中小企業の魅力発信を目的とする取組みを推進する。
- ・就職・産業振興部会に参画する産学官の関係機関が連携しながら、アンケート等の結果を踏まえた取組みの検討を行う。

(県内企業)

- ・学生が「ハローワーク」を利用するのは、エントリーシートの添削や面接指導などのキャリアカウンセリングが多く、求人媒体としての活用はあまり行われていないため、インターンシップや1day仕事体験の実施など、学生が求めている情報発信を行うことを検討する。

補足資料①香川県の人手不足の現状

【高校生の県内進学・県内就職状況】

- ・県内高校卒業後、R5.4入学で82.6%※1(4,157人/5,031人)が県外大学等に進学
- ・県内高校卒業生の県内就職率は、R6.3卒で86.4%※2(県内就職者数762人/就職内定者数882人)

※1 香川県政策部統計調査課「令和5年度学校基本統計」

※2 香川県教育委員会「令和6年3月香川県公立高等学校卒業予定者の就職内定状況について」

【大学生・短大生・高専生の県内就職状況】

- ・県内大学等(大学・短大・高専)の学生の県内就職率は、R6.3卒で45.8%(県内就職者数910人/就職者数1989人)

項目	種別	令和元年度 (R2.3卒)	令和2年度 (R3.3卒)	令和3年度 (R4.3卒)	令和4年度 (R5.3卒)	令和5年度 (R6.3卒)
就職者数	大学	1,648	1,573	1,514	1,617	1,560
	短大	327	319	301	285	257
	高専	169	140	144	144	172
	合計	2,144	2,032	1,959	2,046	1,989
県内就職者数	大学	668	681	667	682	625
	短大	292	278	272	251	216
	高専	54	57	59	67	69
	合計	1,014	1,016	998	1,000	910
県内就職率 (県内就職者数 /就職者数)	大学	40.5%	43.3%	44.1%	42.2%	40.1%
	短大	89.3%	87.1%	90.4%	88.1%	84.0%
	高専	32.0%	40.7%	41.0%	46.5%	40.1%
	合計	47.3%	50.0%	50.9%	48.9%	45.8%

【出典元:香川県政策部地域活力推進課調査】

補足資料②香川県の人手不足の現状

【県内企業の新規学卒者採用状況(R5.3卒)】

業種	採用計画人数	採用者数	充足率	備考
農業・林業・漁業	—	—	—	新規学卒者採用無
建設業	155	67	43.2%	22社
製造業	241	158	65.6%	49社
電気・ガス・水道業	133	124	93.2%	3社
情報通信業	30	21	70.0%	4社
運輸・郵便業	4	3	75.0%	3社
卸売業・小売業	162.5	108	66.5%	33社
金融業・保険業	58	77	132.8%	5社
不動産業・物品賃貸業	32	26	81.3%	2社
宿泊業・飲食サービス業	29	23	79.3%	4社
教育学習支援業	21.5	24	111.6%	5社
医療・福祉関連業	119	74	62.2%	21社
サービス業(他に分類されないもの)	190.5	133	69.8%	16社
公務・団体(他に分類されるものを除く)	5.5	3	54.5%	3社
業種未回答	12	8	66.7%	4社
合計	1,193	849	71.2%	174社

※新規学卒者:大学・大学院・短期大学・高等専門学校卒業生(ただし、外国人留学生を除く)

【出典元:大学・地域共創プラットフォーム香川

※新規学卒者の採用有と回答した企業(採用予定人数・採用者数に欠損値がある企業は集計から除外)

「県内企業の採用活動に関する実態調査」】

- ▶ 日本銀行が公表する「短観(全国企業短期経済観測調査)」の2024年10月調査における雇用人員判断D.I.(企業の雇用人員の過不足についての判断を示す指数、「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を差し引いて算出)では、全産業で-36%ポイント、製造業で-22%ポイント、非製造業で-45%ポイントとなっており、全国的に人手不足の状況にあることが伺える。
- ▶ 香川県においても、建設業、製造業、卸売業・小売業、医療・福祉関連業、サービス業、公務・団体など、県内企業の多くの業種において、新規学卒者の採用が充足できていない状況にあることが分かる。

補足資料③アンケート調査の概要(学生)

【学生の就職活動の状況等に関するアンケート調査概要】

○回答方法:香川県電子申請・届出システムによるWebアンケート調査

○調査時期:令和5年1月～2月

○回答学生数:470名

○令和5年3月に卒業予定で、就職活動を行った下記の学生

①香川県内の大学生(大学院生を含む)・短期大学生・高専生

②香川県外に進学した香川県出身の大学生(大学院生を含む)・短期大学生(香川県と就職支援協定等を締結する31校に在籍する学生)

No.	区分	設問	回答
1	属性	性別	単一
2	属性	大学種別(大学名は任意回答)	単一
3	属性	大学所在地	単一
4	属性	在籍学部等	単一
5	属性	出身地域(県内出身地域は任意回答)	単一
6	属性	就職先での主な勤務地	単一
7	就職活動の状況	就職活動を本格的に開始した時期	単一
8	就職活動の状況	就職活動開始時の希望業種	3つまで
9	就職活動の状況	就職活動開始時に重視していたこと	3つまで
10	就職活動の状況	就職活動で役に立った情報収集手段	3つまで

No.	区分	設問	回答
11	就職先の選定	就職活動で得た内定の数	単一
12	就職先の選定	就職活動を終えた時期	単一
13	就職先の選定	就職先の企業の主な業種	単一
14	就職先の選定	就職先の企業の規模	単一
15	就職先の選定	就職先決定時に重視したこと	3つまで
16	就職先の選定	就職先決定時に最も参考にした者	単一
17	香川県での就職	就職活動における香川県内就職の検討	単一
18	香川県での就職	香川県内の就職検討時に困難に感じたこと	複数
19	香川県での就職	香川県内(県外)での就職を決めた理由	3つまで
20	香川県での就職	香川県への就職希望者を増やす取り組み	3つまで
21	香川県での就職	若者の県外転出超過の原因と考えるもの	3つまで
22	香川県での就職	香川県への愛着を感じるか	単一

補足資料④アンケート調査の概要(学生)

○回答者の属性

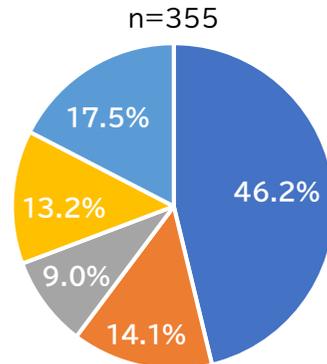
出身地・大学所在地・勤務地(内定先)			男性	女性	その他	合計	
出身地-県内	大学所在地-県内	勤務地-県内	35	101	2	138	
		勤務地-県外	18	16	0	34	
		内定無	1	11	0	12	
		小計	54	128	2	184	
	大学所在地-県外	勤務地-県内	14	34	0	48	
		勤務地-県外	30	31	1	62	
		内定無	1	2	0	3	
		小計	45	67	1	113	
	小計			99	195	3	297
	出身地-県外	大学所在地-県内	勤務地-県内	13	16	1	30
勤務地-県外			60	75	0	135	
内定無			2	4	0	6	
小計			75	95	1	171	
大学所在地-県外		勤務地-県内	0	1	0	1	
		勤務地-県外	0	0	0	0	
		内定無	0	1	0	1	
		小計	0	2	0	2	
小計			75	97	1	173	
合計			174	292	4	470	

※高等教育別回答数:国立大学(大学院)210名、私立大学(大学院)192名、短期大学62名、高等専門学校6名

補足資料⑤アンケート調査の概要(学生)

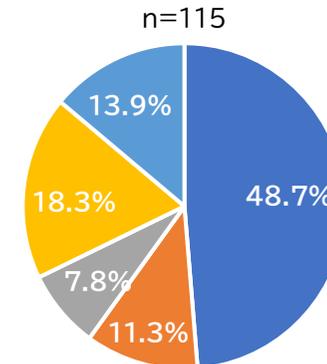
【香川県内就職検討(県内大学等学生・県外大学学生別)】

県内大学等学生



- 香川県内を主に検討した
- 香川県内やその周辺(四国や中国地方)を主に検討した
- 香川県内を含め、場所にこだわらず検討した
- 香川県外を主に検討したが、香川県内も一部検討した
- 検討しなかった

県外大学学生



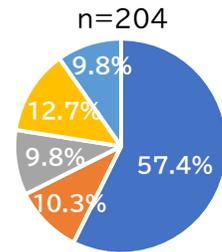
- 香川県内を主に検討した
- 香川県内やその周辺(四国や中国地方)を主に検討した
- 香川県内を含め、場所にこだわらず検討した
- 香川県外を主に検討したが、香川県内も一部検討した
- 検討しなかった

▶ 県内大学等学生については、82.5%の学生が県内就職を検討しており、また、県外大学学生(香川県出身学生)についても、86.1%が県内就職を検討しているなど、多くの学生が香川県内での就職を視野に入れて就職活動を行っていることが分かる。

補足資料⑥アンケート調査の概要(学生)

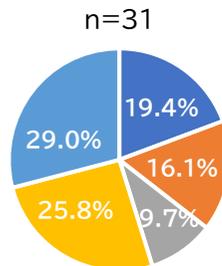
【香川県内就職検討(香川県への愛着度別)】

香川県に愛着をととても感じる



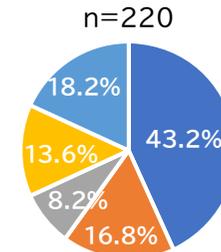
- 県内を主に検討
 - 県内や周辺を主に検討
 - 場所にこだわらず検討
 - 県外を主に検討したが一部県内を検討
 - 検討しなかった
- 90.2%

香川県に愛着をどちらかというと感じない



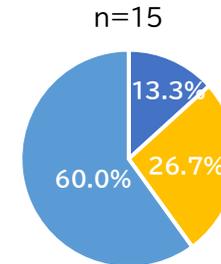
- 県内を主に検討
 - 県内や周辺を主に検討
 - 場所にこだわらず検討
 - 県外を主に検討したが一部県内を検討
 - 検討しなかった
- 71.0%

香川県に愛着をどちらかというと感じる



- 県内を主に検討
 - 県内や周辺を主に検討
 - 場所にこだわらず検討
 - 県外を主に検討したが一部県内を検討
 - 検討しなかった
- 81.8%

香川県に愛着をほとんど感じない



- 県内を主に検討
 - 県内や周辺を主に検討
 - 場所にこだわらず検討
 - 県外を主に検討したが一部県内を検討
 - 検討しなかった
- 40.0%

➤ 香川県への愛着を感じるかという設問について、「愛着をととても感じる」、「どちらかというと感じる」、「どちらかというと感じない」、「ほとんど感じない」の回答者における、県内就職の検討については上記のとおりであり、香川県への愛着を感じている学生ほど、県内就職を検討しており、シビックプライドの醸成が重要であることが分かる。

補足資料⑦アンケート調査の概要(学生)

【就職活動開始時期(高等教育機関別)】

学生の就職活動 開始時期	国公立大学 (大学院含む)	私立大学 (大学院含む)	短期大学	高等専門学校	合計	%
令和3年3月以前	14	13	1	0	28	6.0%
令和3年4月～6月	67	42	1	1	111	23.6%
令和3年7月～9月	30	24	10	1	65	13.8%
令和3年10月～12月	28	22	7	1	58	12.3%
令和4年1月～3月	34	46	11	3	94	20.0%
令和4年4月～6月	26	25	12	0	63	13.4%
令和4年7月～9月	5	11	11	0	27	5.7%
令和4年10月以降	1	5	6	0	12	2.6%
分からない・ 覚えていない	5	4	3	0	12	2.6%
合計	210	192	62	6	470	100.0%

補足資料⑧アンケート調査の概要(学生)

【追加調査①:学生の就職活動の状況等に関するインタビュー調査概要】

- 調査時期:令和5年5月～8月
- 対象者:①令和5年度に大学等を卒業予定で、就職活動を行った香川県内の大学生、②県内企業の若手社会人
- 調査対象人数:17名
- 調査方法:グループインタビュー(2～6名/回)
- 調査内容:就職先決定時に重視したこと等のインタビュー

種別	学部	性別/人数	勤務地/人数	就職先の業界
県内大学生 (国立大学)	文系学部	男性 4	県内 0 県外 3 未定 1	製造業、情報通信業、公務・団体
		女性 7	県内 2 県外 2 未定 3	製造業、情報通信業、サービス業、 不動産・物品賃貸業、公務・団体
	理系学部	男性 4	県内 0 県外 3 未定 1	情報通信業
		女性 2	県内 0 県外 1 未定 1	卸売業・小売業、医療・福祉関連業
若手社会人	男性 2	県内 2	情報通信業	
合計		19名(男性 10 女性 9)	県内 4 県外 9 未定 6	

【追加調査②:学生の就職活動の状況等に関するインタビュー調査概要】

- 調査時期:令和7年1月
- 対象者:令和6年度に大学等を卒業予定で、就職活動を行った又は行っている香川県内の大学生
- 調査対象人数:3名
- 調査方法:産学官メンバーを交えたグループインタビュー(12名)
- 調査内容:就職先決定時に重視したこと等のインタビュー

種別	学部	性別/人数	勤務地/人数	就職先の業界
県内大学生 (国立大学)	文系学部	男性 1	未定 1	
		女性 1	県外 1	サービス業
県内大学生 (私立大学)	理系学部	男性 1	県内 1	情報通信業
合計		3名(男性 2 女性 1)	県内 1 県外 1 未定 1	

補足資料⑨アンケート調査の概要(企業)

【県内企業の採用活動の状況に関するアンケート調査概要】

- 回答方法:郵送によるアンケート調査(株帝国データバンクに調査委託)
- 調査時期:令和6年1月～2月
- 調査実施機関:株式会社帝国データバンク
- 調査企業数:1,000社(有効回答件数348社)
- 対象企業:本社所在地が香川県、従業員数30名以上
- 業種:全業種からランダムに抽出

No.	区分	設問	回答
	属性	社名	単一
	属性	部署名	単一
	属性	担当者名	単一
	属性	電話番号	単一
	属性	メールアドレス	単一
	属性	業種	単一
	属性	従業員数	単一
1	採用活動の状況	採用活動の有無	単一
2	採用活動の状況	採用人材の種類・優先順位・人数	記述
3	新規学卒者の採用状況	採用ターゲット校の有無・ターゲットエリア	3つまで
4	新規学卒者の採用状況	No.10の選択理由	3つまで
5	新規学卒者の採用状況	採用活動開始時期	単一
6	新規学卒者の採用状況	採用活動終了時期	単一
7	新規学卒者の採用状況	県内での就職が困難になる理由	3つまで

No.	区分	設問	回答
8	新規学卒者の採用状況	県外転出の理由	3つまで
9	新規学卒者の採用状況	インターンシップ実施の有無	単一
10	新規学卒者の採用状況	インターンシップ募集人数・参加人数	記述
11	新規学卒者の採用状況	インターンシップを実施しない理由	3つまで
12	新規学卒者の採用状況	就職活動の際に学生が参考にする者	3つまで
13	新規学卒者の採用状況	内定辞退の理由	3つまで
14	採用活動における広報	採用活動時の情報発信方法	3つまで
15	採用活動における広報	採用活動にかかる費用	単一
16	採用活動における広報	採用活動におけるPRポイント	3つまで
17	採用活動における広報	採用活動における課題	3つまで
18	香川県の就職状況	香川県での就職者を増やすために必要な取組	3つまで

補足資料⑩アンケート調査の概要(企業)

○回答者の属性

【業種別企業数】

業種	件数	%
農業・林業・漁業	2	0.6%
建設業	37	10.6%
製造業	96	27.6%
電気・ガス・水道業	4	1.1%
情報通信業	8	2.3%
運輸業・郵便業	29	8.3%
卸売業・小売業	53	15.2%
金融業・保険業	6	1.7%
不動産業・物品賃貸業	5	1.4%
宿泊業・飲食サービス業	7	2.0%
教育・学習支援業	6	1.7%
医療・福祉関連業	45	12.9%
サービス業(他に分類されないもの)	36	10.3%
公務・団体(他に分類されるものを除く)	3	0.9%
その他	4	1.1%
無回答	7	2.0%
合計	348	100.0%

【業種別企業数】

従業員数	件数	%
20名未満	11	3.2%
20人～49人	93	26.7%
50人～99人	115	33.0%
100人～499人	98	28.2%
500人～999人	18	5.2%
1,000人以上	7	2.0%
無回答	6	1.7%
合計	348	100.0%

補足資料⑪アンケート調査の概要(企業)

【追加調査:県内企業の採用活動等に関するインタビュー調査概要】

- 調査時期:令和7年1月
- 調査実施機関:香川県労働政策課、大学・地域共創プラットフォーム香川事務局
- 調査対象企業:県内企業4社
- 調査方法:個別インタビュー
- 調査内容:新規学卒者の採用状況、採用活動時の情報発信方法、企業のPRポイント等についてヒアリング

		業種	従業員数	資本金	採用担当人数	費用
県内企業	A社	建設業	約70名	6,000万円	専任1名、管理職1名	年間300万円~400万円
	B社	情報通信業	約20名	1,000万円	代表取締役1名、役員2名、社員6,7名(会社説明会など)	年間100万円未満
	C社	サービス業	約2,180名	4,000万円	専任5名	新規学卒者 1人当たり70万円
	D社	製造業	約50名	7,000万円	兼務2名	年間100万円未満

補足資料⑫アンケート調査の概要(企業)

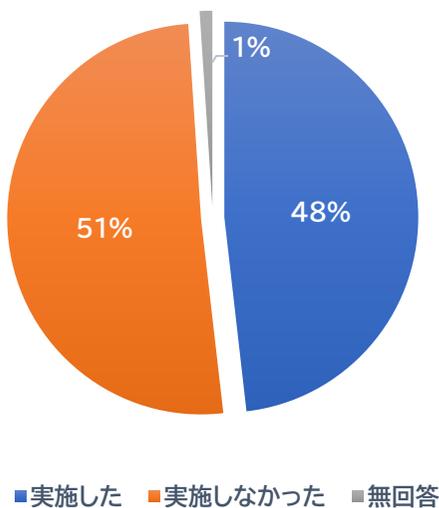
【採用活動開始時期(従業員数別)】

従業員数	Q5 令和5年3月新規学卒者の採用活動を本格的に始めた時期										
	令和3年 3月以前	令和3年 4～6月	令和3年 7～9月	令和3年 10～12月	令和4年 1～3月	令和4年 4～6月	令和4年 7～9月	令和4年 10月以降	その他	無回答	合計
30人未満	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%		100.0%
30人以上	5	3	2	1	8	7	3	4	1	1	35
	14.3%	8.6%	5.7%	2.9%	22.9%	20.0%	8.6%	11.4%	2.9%	2.9%	100.0%
50人以上	3	3	4	3	18	18	8	6	2	0	65
	4.6%	4.6%	6.2%	4.6%	27.7%	27.7%	12.3%	9.2%	3.1%		100.0%
100人以上	3	8	2	4	26	15	5	1	0	0	64
	4.7%	12.5%	3.1%	6.3%	40.6%	23.4%	7.8%	1.6%	0.0%		100.0%
500人以上	0	2	1	1	4	4	1	1	0	0	14
	0.0%	14.3%	7.1%	7.1%	28.6%	28.6%	7.1%	7.1%	0.0%		100.0%
1,000人以上	0	4	0	0	1	1	0	0	1	0	7
	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%		100.0%
無回答	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	4
	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%		100.0%

補足資料⑬アンケート調査の概要(企業)

【インターンシップ実施の有無と新規学卒者充足率】

インターンシップの実施(令和5年度)



	企業数	新規学卒者充足率
インターンシップ実施	92社	79.7%
インターンシップ未実施	97社	55.8%
無回答	2社	—
合計	191社	—

補足資料⑭アンケート調査比較(平均値の比較(t検定))

【学生の就職先決定時に重視したことと企業が採用活動でPRすることの比較】

No.	回答項目		度数	平均値	標準偏差	検定結果		効果量	
						検定結果	効果量	効果量	効果量
1	企業等の安定性	学生	448	0.37	0.48	t(346.918)=-2.579,p<0.01	学生<企業	-.23	小
		企業	191	0.48	0.50				
2	企業等の成長性	学生	448	0.06	0.23	t(276.994)=-2.321,p<0.05	学生<企業	-.23	小
		企業	191	0.12	0.32				
3	企業等の知名度	学生	448	0.08	0.28	t(637)=.859,n.s.	-	.07	なし
		企業	191	0.06	0.24				
4	給与が高い・福利厚生充実	学生	448	0.38	0.49	t(483.956)=6.764,p<0.001	学生>>企業	.52	中
		企業	191	0.15	0.35				
5	希望する勤務地であること	学生	448	0.28	0.45	t(568.426)=7.023,p<0.001	学生>>企業	.50	中
		企業	191	0.08	0.27				
6	柔軟な働き方(テレワーク・時差出勤など)	学生	448	0.06	0.23	t(637)=.832,n.s.	-	.07	なし
		企業	191	0.04	0.20				
7	ワークライフバランス(残業・休暇)	学生	448	0.22	0.42	t(330.359)=-1.830,n.s.	-	-.17	なし
		企業	191	0.29	0.46				
8	やりたい仕事、やりがい	学生	448	0.34	0.47	t(637)=.305,n.s.	-	.03	なし
		企業	191	0.32	0.47				
9	能力や専門性を活かせること	学生	448	0.17	0.37	t(336.130)=-.997,n.s.	-	-.09	なし
		企業	191	0.20	0.40				
10	社会貢献ができること	学生	448	0.09	0.29	t(281.552)=-3.080,p<0.01	学生<企業	-.30	小
		企業	191	0.19	0.39				
11	地元で働けること	学生	448	0.22	0.42	t(324.424)=-1.560,n.s.	-	-.14	なし
		企業	191	0.28	0.45				
12	転勤がない(少ない)こと	学生	448	0.07	0.25	t(250.667)=-4.911,p<0.001	学生<<企業	-.51	中
		企業	191	0.23	0.42				
13	女性活躍	学生	448	0.03	0.17	t(239.981)=-3.209,p<0.01	学生<企業	-.35	小
		企業	191	0.10	0.31				
14	子育て支援の充実	学生	448	0.02	0.12	t(254.083)=-1.676,n.s.	-	-.17	なし
		企業	191	0.04	0.20				
15	職場の雰囲気が良い	学生	448	0.16	0.36	t(299.785)=-3.427,p<0.001	学生<<企業	-.32	小
		企業	191	0.28	0.45				
16	人事担当者の社員の印象	学生	448	0.06	0.24	企業回答ゼロのため比較不能			
		企業	0a						
17	その他	学生	448	0.00	0.05	t(201.924)=-2.271,p<0.05	学生<企業	-.28	小
		企業	191	0.03	0.17				

t検定とは、2つのグループの間にある差が有意なもの(単なる偶然ではないこと)かどうかを確認するための方法
 分析の結果、項目4,5は学生が企業よりも重視している事項であり、項目1,2,10,12,13は企業が学生よりも重視している項目であると、統計的に有意性が認められる。

補足資料⑮アンケート調査比較(平均値の比較(t検定))

【学生の就職活動における情報収集手段と企業の採用活動における情報発信手段の比較】

No.	回答項目		度数	平均値	標準偏差	検定結果		効果量	
						t値	学生<>企業	値	効果量
1	大手就職サイト	学生	470	0.56	0.50	t(357.482)=-1.157,n.s.	-	-.10	なし
		企業	191	0.61	0.49				
2	合同企業説明会(対面)	学生	470	0.21	0.41	t(299.284)=-6.395,p<0.001	学生<<企業	-.60	中
		企業	191	0.48	0.50				
3	合同企業説明会(オンライン)	学生	470	0.27	0.44	t(449.197)=4.035,p<0.001	学生>>企業	.31	小
		企業	191	0.14	0.34				
4	インターンシップ	学生	470	0.24	0.43	t(659)=-.449,n.s.	-	.04	なし
		企業	191	0.22	0.42				
5	香川県の就職サイト(ワクサポかがわ)	学生	470	0.12	0.32	t(276.237)=-4.176,p<0.001	学生<<企業	-.41	小
		企業	191	0.27	0.44				
6	就活メディア(紙媒体)	学生	470	0.02	0.14	t(273.335)=-1.289,n.s.	-	-.13	なし
		企業	191	0.04	0.20				
7	SNS(X,Instagram等)	学生	470	0.10	0.30	t(453.106)=2.030,p<0.05	学生>企業	.16	なし
		企業	191	0.06	0.23				
8	OB・OG訪問	学生	470	0.05	0.22	t(488.949)=1.738,n.s.	-	.13	なし
		企業	191	0.03	0.16				
9	学内キャリアセンター	学生	470	0.20	0.40	t(659)=-.448,n.s.	-	-.04	なし
		企業	191	0.22	0.42				
10	学内のセミナー	学生	470	0.06	0.23	t(659)=-.630,n.s.	-	-.05	なし
		企業	191	0.07	0.25				
11	学内の就職サークル	学生	470	0.03	0.16	t(469.000)=-36.653,p<0.001	学生>>企業	.20	小
		企業	191	0.00	0.00				
12	キャリア支援団体(学生運営の就活サポートサイト)	学生	470	0.03	0.16	t(659)=-.261,n.s.	-	-.02	なし
		企業	191	0.03	0.17				
13	ハローワーク	学生	470	0.06	0.24	t(226.718)=-9.229,p<0.001	学生<<企業	-1.04	大
		企業	191	0.40	0.49				
14	友人(先輩・知人・家族)の口コミ※学生のみ	学生	470	0.20	0.40				
		企業	0a						
15	その他	学生	470	0.07	0.25	t(659)=-.807,n.s.	-	-.07	なし
		企業	191	0.08	0.28				

分析の結果、項目3,7,11は、学生が企業よりも活用している情報収集(発信)手段であり、項目2,5,13は、企業が学生よりも活用している情報発信(収集)手段であると、統計的に有意性が認められる。

発行/大学・地域共創プラットフォーム香川
〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 研究交流棟6階
TEL:087-832-1356 FAX:087-832-1357
E-mail:platform-kagawa-h@kagawa-u.ac.jp